

# 職能科通信 8号

2011年4月発行 <http://www.kanagawa-rehab.or.jp>

243-0121  
神奈川県厚木市七沢 516  
神奈川リハビリテーション病院  
職能科  
TEL&FAX 046-249-2575

## 就労支援・復職支援の研修会



写真1 「身体障害者の就労支援研修会」

■1月29日(土)、地域支援センター主催「身体障害者の就労支援・脳血管障害者の復職支援」の研修が神奈川総合リハビリテーションセンター(以下「当センター」)研修室と職能科訓練室で行われました。参加者は42名で作業療法士の方が35名参加しました。復職支援に対する関心の高さが窺えました。講師は北原国際病院作業療法士齊藤陽子氏を招き、就労支援の実践を講義していただきました。その他神奈川リハ病院医療福祉総合相談室 藤森弘子、職能科は、泉忠彦・千葉純子・伊藤豊・今野政美・松元健が講師を勤め、職業リハビリテーションの基礎知識、就労支援ネットワーク重要性などの講義とともに、職能科の訓練を体験していただきました。(写真1)

■3月5日(土)ウィリング横浜で「高次能機能障害セミナー就労支援編」が開催されました。このセミナーは「就労支援機関活用の為の講習会」という名称でしたが、今年度から名称を変更しました。講習会から数えて今回で5回目になります。当センター以外の機関と協同で開催する唯一の研修です。参加者は作業療法士、ケースワーカー、生活支援員など45名でした。(写真2)

研修の協力機関の講師は、

神奈川障害者職業センター 荒井康平氏

神奈川県障害者就労相談センター 落合勝氏

県央地域就労援助センター「ぼむ」 柳川圭介氏

障害者支援センター「ぽけっと」 渡辺直人氏

脳外傷友の会 浜崎政廣氏、

当センターの講師は、リハ科医師青木重陽、地域支援室瀧澤学、職能科泉忠彦と今野政美です。



写真2 「高次能機能障害セミナー就労支援編」



写真3 グループワーク

参加者は作業療法士、ケースワーカーなどの病院関係者のほかに就労支援機関やジョブコーチの方も参加しました。今回も高次能機能障がい者の理解や就労支援の講演および各機関の紹介の後に、支援の事例検討を行いました(写真3)。高次能機能障がい者の就労支援を開始するためにはリハビリテーション段階に応じた支援が必要であり、支援の連続・継続性は欠かせません。今後も地域ネットワーク作りを目的に、よりよい研修を協力機関と継続したいと思います。(泉 忠彦)

# トライ！e-ラーニングコース



写真4 訪問指導の様子

昨年度より神奈川県では、障害者就職促進委託訓練のe-ラーニングコース「ビジネスパソコン実践科」(定員 10 名)がスタートしました。富士通 FOM 株式会社が訓練を担い、職能科は協力機関として初回と最終回の訪問指導に同行し、障害状況の確認・訓練環境設定などへの支援を行ないました。職能科利用者は、在宅訓練を受けた方 4 名、以前に職能科訓練を受けた方 1 名が受講しました。

4 ヶ月受講後、5 名の方の感想です

- ・ PC スキル全般を学べ、MOS 資格取得ができた。
- ・ 健康面は、体力的な疲労なく、普段通りに体調維持して学習ができた。
- ・ 生活面は、看護・介助時間や家族の協力を考え、日課と学習の切り替えや生活リズムなど、時間管理の意識をもつようになった。
- ・ 在宅就業に向けて、現実的なイメージが持て、課題も具体的になった。
- ・ 通院時に模擬職場に参加し他メンバーとコミュニケーションを図る



写真5 修了証書ゲット

職能科では、受講後も 5 名の方の支援を継続しています。(松元 健)

## 就労支援の実績

職場内リハビリテーション実施人数	
2011年1月～3月の人数	11名
4月からの累計人数	24名

就職・復職者の人数		
2011年1月～3月の 就職・復職者	新規就労	4名
	復職・自営業	6名
2010年4月からの累計	新規就労	12名
	復職・自営業	27名

## 園芸作業



職能科訓練室の入り口では季節の草花が患者さんや利用者の方々を迎えてくれます。身の回りに綺麗な花がある、それだけで心が和む方も多と思います。高次脳機能障がいの方の中には香りを感じることができない方もいらっしゃいますが、それでも鉢植えの草花には目を細められる方は多く、ご自宅で園芸をされていた方や関心をお持ちの方は飾られている花の名前や育て方を職員に尋ねる方もいらっしゃいます。職能科の園芸作業は、日常の水やりや定期的な施肥・種まきや鉢への移植・除草や剪定などで参加される方の状況に合わせて作業内容を変えて行なっています。目的は、遂行能力や注意、集中力・判断力・耐久力の向上などの他に在宅での余暇利用の幅を広げることなどです。その成果が訓練室に飾られている草花です。植木鉢は通院プログラムの際に利用されたり、他部署への貸し出しにも使われています。《中村憲一(元職能科職員)》

東日本大震災の被災された方々にお見舞申し上げます。また、亡くなられた方へ哀悼の意を表します。